

子ども読書活動推進計画取組状況シート

【評価指標】
A: 充実・進展した
B: 現状維持
↓
C: 後退した

【方向性】
拡充、現状維持、
縮小、廃止
↓

資料1

計画の内容			取組の方向性	第四次計画上の具体的取組	評価	評価理由・取組内容 (R4年度～R8年度)	今後の方向性	事業の課題点等 (縮小・廃止の場合はその理由)	所管 (第四次計画時)
1 乳幼児期の 読書活動推 進	(1) 乳幼児期 の読書活動	①これから親 になる方への 絵本の読み 聞かせ案内	絵本の読み聞かせやわらべう たは、親子が触れ合うきっかけ を作る役割を果たします。父母 やその他の保護者による積極 的な語りかけの重要性について 広く理解を促し、家庭での実践 に繋がるよう努めます。	ア. 妊娠中の方などに、図書館利用案内や推薦絵本リスト を配布します。 イ. 読み聞かせの意義や推薦絵本リストについて、子ども関 連施設等と連携し、これから親になる方に理解が図られる よう努めます。	B: 現状 維持	・妊娠中の方への情報提供は未達成。 ・今までの関連施設への推薦リストの設置は維持した。	拡充	・妊娠中の方への啓発の拡充。 ・既存の施設のみならず、今までアプ ローチできなかった施設や場所にお いて、これから親になる方へのアプ ローチに努める。	図書館
		②ブックス タート事業の 継続	乳幼児期から身近に本がある 環境を作り、本に親しむ機会が もてるよう努めます。	ア. 対象の乳児とその保護者に図書館職員等が絵本の読 み聞かせを行い、その絵本を1冊贈呈する「ブックスタート事 業」を行います。絵本を介して親子が向き合うきっかけを作 り、心触れ合うひとときとなるよう努めます。 イ. 図書館が作成した対象年齢別の絵本リストを配布し、乳 幼児の保護者が様々な絵本を手にすることができるよう図 書館の絵本を展示します。 ウ. 保護者向けの図書館利用案内を配布します。	B: 現状 維持	・市民センター大規模改修により、旧市民食堂で中央図書館臨時窓口を 開始し、切れ目なくブックスタートを実施した。また、より参加しやすいよ うに、読み聞かせを行う場所をこまえみライブラリーのフリースペースに 変更した。 ・絵本リストや保護者向けの利用案内に加え、次の段階のおはなし会へ の誘導として、親子でたのしむおはなし会の案内などもいっしょに配付し た。 ・ブックスタート時に希望者に対して図書貸出券の新規発行を行った。	拡充	・読み聞かせの参加者を増やすた め、ブックスタート活動の周知を図り、 よりわかりやすい案内を作成する。	図書館
		③各施設によ る取組み	乳幼児関連のイベントを開催 し、地域交流の機会がもてる よう努めます。	ア. おはなし会等の子ども読書関連イベントや講座の実施 に努めます。 イ. 狛江市子育てポータルサイト「こまえ子育てネット」等を 活用し、乳幼児関連イベントのPRを行います。	B: 現状 維持	・地域センター運営協議会の事業として、おはなし会を実施し、乳幼児と 保護者が絵本に親しむ環境を充実させている。内容としては、大型絵本 やパネルシアターを用いた絵本の読み聞かせ、手遊びや簡単な工作の 導入、リトミックを取り入れた読み聞かせ、さらに「えほんとおそぼ」など 定例的な活動を通じて幼児と保護者の地域交流の場を創出している。 また、季節行事に合わせたおはなし会（七夕・ハロウィン・クリスマス）も 実施している。 ・0～3歳までのおはなし会を新たに実施したが、令和4～7年度まで は、200人前後で横ばい傾向である。令和8年度は、いきいき子育て ルームの時間中におはなし会をする事で乳幼児とその親に読書に親し む環境の充実に努めた。 ・たんぽぽひろばでの絵本の読み聞かせを毎日実施。また、月1回、元 利用者による読み聞かせ会を実施し、地域で子育てを支え合う意識を 醸成した。 ・職員等による定期的なおはなし会を実施した ・狛江市子育てポータルサイト「こまえ子育てねっと」等を活用し乳幼児 関連イベントのPRを行うことにより親子同士の交流を促進した。	拡充	・共働き世帯の増加により、0、1歳児 の参加が増えたため、内容を対象児 に合わせ刷新するよう努める。 ・より多くの乳幼児が参加できるよう にPR等周知をもっと充実していきたい。 ・今後も本の楽しさを知ってもらうと ともに、社会で孤立しがちな乳幼児の 保護者が子育てを通じ、地域と繋が り、仲間づくりのきっかけとするため、 引き続き事業を継続する。 ・利用者の増加を図るため、図書館 職員による出張読み聞かせや絵本 の選定に当たって専門家(司書)のお 薦め本を紹介、読み手個人ではなく、 子ども家庭支援センターとして絵本を 借りれるようにするなど図書館との連 携を深める必要がある。	児童館・児童センター 子ども家庭支援センター 各地域センター 公民館
		④保育園にお ける読書活動 の充実	乳幼児が日々の生活の中で本 に親しむために、保育園におけ る読書活動の充実を図ります。	ア. 乳幼児の発達に適した蔵書の充実に努めます。 イ. 図書館の団体貸出 を活用します。 ウ. 保育士は、日常の保育の中で継続して読み聞かせを行 います。 エ. 地域のおはなしグループによる読み聞かせやおはなし 会の実施に努めます。 オ. 地域交流(地域の未就学児とその保護者を対象にした 行事)において、乳幼児が積極的に本に触れる機会を設け ます。	A: 充実・ 進展した	・日々の保育の中で、絵本や紙芝居の読み聞かせは毎日行っている。 (全園) ・予算増額により、新しい紙芝居と絵本を購入し子どもたちに読み聞か せを行うなど、充実した読書体験を提供できている。(全園) ・図書館からの配本サービスを活用し、読み聞かせを行う機会を多く設 けた。(全園) ・季節や子どもの興味に合わせて絵本の入れ替えをし、子どもが興味を 持ち楽しめるようにしている。(全園) ・絵本に出てくる食材や料理を給食で提供し、食にも絵本にも興味を持 てる環境をつくっている。(全園) ・おはなし会の案内を来園者向けに掲示している。(全園) ・園児に人気のある絵本をクラスだよりなどで年4回紹介している。(三 島) ・絵本と合わせ、自分たちで調べたりすることを楽しんでいる5歳児向け に図鑑をそろえている。(全園)	現状維持	読み聞かせの機会を多く設けるとと もに、子どもが自分で好きな本を選ぶこ とも促し、子どもが興味を持てる環境 を設定することを引き続き行ってい く。	保育園
	(2) 乳幼児期 の読書活動 推進のための 諸条件の整 備	①家庭におけ る読書支援の ための取組		ア. ブックスタートを経て、その後の読み聞かせ活動を継続 して実践できるよう、家庭での取組を支援するフォローアッ プ事業のあり方について検証します。 イ. 乳幼児と一緒に図書館へ来館する保護者のための利用 案内を配布し、図書館利用の啓発に努めます。 ウ. 上記の利用案内をブックスタート事業や子ども関連施設 等で配布するとともに、ホームページに掲載するなど、効果 的な周知を図ります。	B: 現状 維持	・おはなし会の時に、家庭での取り組みを維持できるよう工夫している。 ・新たに開館したこまえみライブラリーにも市内図書館・室のおはなし会 案内チラシなどを手に取りやすい場所に設置した。 ・ホームページ等でおはなし会やイベントの告知を行い、周知を図った。	拡充	・引き続きおはなし会時に家庭での絵 本啓発が出来るようフォローする。 ・図書館ホームページ以外でもおは なし会をPRできる機会を得る。	図書館
		②読み聞か せに向く絵本 のリストの作 成・配布	多くの絵本の中から何を選んだ らよいか迷う保護者等に向け、 絵本の紹介リストを定期的に改 訂して配布します。	ア. 「赤ちゃんに贈るファーストブック」「図書館で会える絵 本」を作成し、必要に応じて改訂を行い、常に魅力ある新鮮 な情報を提供します。 イ. 上記のリストに掲載した絵本コーナーを設置し、保護者 等が様々な絵本を手にとることができるよう努めるととも に、貸出利用を促進します。	B: 現状 維持	・推薦図書リストの改訂・発行を行い、リストの掲載した絵本を利用者が 分かりやすく手にすることができるように案内を工夫した。	現状維持	・配布数の増加を図る。 ・広報に努める。	図書館

		③各施設における読書活動の広報	各関連施設における絵本の読み聞かせ等の読書活動について、保護者の目に留まるような広報に努めます。	ア. 各施設の掲示やイベント情報案内、各施設の発行物等で広報し、周知に努めます。 イ. 各施設のホームページやSNS等を活用し、効果的な広報周知を図られるよう検討します。	A: 充実・進展した	・市掲示板、近隣公園へのポスター掲示、市内公共施設、岩戸町会掲示板、岩戸地域センター館内等でのポスター掲示、市広報、中央図書館ホームページ、コミュニティ岩戸で周知を図った。また、市広報やチラシ等に申込QRコードを掲載し、申込環境の充実を図った。 ・ふらっとなんぶ「こそだてのわ」にチラシ配布を依頼。情報交換をして参加者のニーズの把握に役立てた。 ・ポスター掲示やチラシ配布・広報こまえ等を活用し、周知や情報案内に努めた。 ・毎月のお知らせにおいて、おはなし会の実施について周知を行った。 ・市内図書館室のおはなし会等PRや都内施設等のイベントチラシの掲示。 ・チラシでの告知は広報したが、SNS等の情報収集告知には至らなかった。	拡充	・紙媒体の発行物と合わせ、SNS等での広報の拡充を図る。 ・引き続き、ポスターやチラシ、広報こまえ等で周知・安愛に努める。	児童館・児童センター 各地域センター 公民館 図書館
		④保育園における図書の充実と保育士の研修	乳幼児が本を身近に親しむために、保育園における図書の充実を図ります。	ア. 計画的に保育園における図書の充実を図ることに努めます。 イ. 図書館の団体貸出や配本サービスを活用します。 ウ. 保育士同士の情報交換や研修の機会を設け、絵本に関する知識向上に努めます。	A: 充実・進展した	・図書館からの季節にちなんだ配本サービスを利用することができ、図書が充実している。また、そのサービスで職員も新しい本を知る機会を得ている。 ・各園の紙芝居・絵本の予算を増額し新しいものを購入した。 ・寄贈のお申し出があった場合は積極的にいただいている。 ・日々の保育の中で、職員間でお互いに読み聞かせに立ち会い、新たな絵本を知り知識を更新している。 ・保育園への団体貸出・集団読み聞かせ用大型絵本等の貸出を行った。 ・保育士への集団研修は未実施。	拡充	図書館のリサイクル図書も活用し、蔵書の充実を図っていく、	保育園 図書館
		⑤図書館における読書活動の充実	図書館では、乳幼児の好奇心や感性を養うのに有用で、特に長く読み継がれている絵本を中心に、よりよい絵本を選定しその収集と提供に努めます。また、子ども関連施設への団体貸出の充実に努めます。	ア. 数ある絵本の中から、特に乳幼児向けの作品を集めた「赤ちゃん絵本コーナー」を設置し、手に取る保護者を選びやすい工夫をします。 イ. 初めて赤ちゃん絵本を選ぶ人にもわかりやすく、月齢に応じた絵本を紹介するリスト「赤ちゃんに贈るファーストブック」の活用を努めます。 ウ. 年齢別のおはなし会や季節の行事にちなんだおはなし会の開催にあたっては、新型コロナウイルス感染症等の拡大防止対策を徹底し、新しい生活様式に対応した形での実施を工夫して、乳幼児が絵本やわらべうたに親しむ機会を設けます。 エ. 図書館が作成する絵本リスト「赤ちゃんに贈るファーストブック」「図書館で会える絵本」に掲載の絵本を中心に、季節やテーマに応じた絵本セットを準備し、子ども関連施設に団体貸出を行います。 オ. 外国語を母語とする子どもや帰国子女の支援等のため、外国語の絵本を充実させます。 カ. バリアフリー関連資料の収集に努め、市販の点字付き絵本を購入するとともに、布の絵本の製作や絵本点訳に取り組みます。 キ. 「こまえ電子図書館」で絵本や児童向けの電子書籍の収集に努めます。	A: 充実・進展した	・こまえみライブラリーが開館し、そのなかにも引き続き「赤ちゃんコーナー」を設置した。 ・紹介リストも設置し、いつでも誰でも手にとれるようしている。 ・休館中にも保育園等子ども関連施設への団体貸出を維持し、利用を継続した。 ・バリアフリー関連書籍の啓発のため、新館のこまえみライブラリーに、新たに「りんごのたな」を設置した。 ・外国語絵本・点字付き絵本・布絵本の充実を図った。 ・電子書籍での絵本の収集も引き続き行っている。 ・適切な選書（購入・除架）に努めた。 ・担当が研修等にて見識を深めた。	拡充	・保護者や子どもに係わる大人が、より手に取りやすい絵本展示に努める。 ・時代に応じたおはなし会の行い方を模索し、実施する。 ・引き続き、自施設に絵本蔵書が少ない施設や絵本の入れ替えが少ない施設に定期的に団体貸出を行う。 ・外国籍やバリアフリーを必要とする子どもが図書館で資料に触れる機会を増やすとともに、その資料を必要としない子どもも小さなころから、その資料に触れられる機会を増やす。 ・より電子書籍で有効となる絵本等の収集に努める。	図書館
		⑥保育園への団体貸出と配本サービスの拡充	子ども関連施設の図書の充実を支援するため、図書館からの配本サービスを実施します。	ア. 図書館が作成する絵本リスト「赤ちゃんに贈るファーストブック」「図書館で会える絵本」に掲載の絵本を中心に、季節やテーマに応じた絵本セットを準備し、子ども関連施設に団体貸出を行います。	B: 現状維持	・子ども関連施設に団体貸出を行い、絵本利用を広めた。	現状維持	・図書館への来館が難しい子どもにも効果的であるため、維持していく。	図書館
		⑦全ての子どもとその保護者のための読書相談及び資料の収集と提供	特別な配慮を必要とする子どもとその保護者へ、それぞれのケースに応じた読書活動の支援を行います。	ア. 「布の絵本」や「絵本点訳」の製作グループによる活動を支援し、図書館資料として所蔵することで提供と普及に努めます。 イ. 外国語の絵本を収集するなど、日本語を母語としない子どもの読書活動の支援に努めます。 ウ. 「こまえ電子図書館」で読み上げ機能がある電子書籍の収集に努めます。 エ. 利用支援サービス※1において、希望図書の音訳を行います。 オ. DAISY(デージー)図書※2を活用した読書活動の支援を行います。 カ. 利用支援サービスの情報発信に努めます。	A: 充実・進展した	・製作グループと協力し、資料増加に努めた。 ・外国語絵本も購入・学校司書等への案内も行った。 ・電子書籍購入時に読み上げ機能の有無についても留意し、購入している。 ・利用者支援・資料の提供・情報発信に務めた。	拡充	・より多くの資料を揃えられるよう、支援する。 ・外国語絵本等の充実を図る。 ・こまえみライブラリーに「対面朗読・録音室」が出来たことから、資料の作成強化やPR等を行っていく。	図書館
2 小・中学生の読書活動推進	(1)小・中学生の読書活動	①児童・生徒の読書活動のさらなる展開	各学校の特色に応じた読書活動の充実と展開を図ります。	ア. 「狛江 本の森 学校図書館活用ノート」や「ようこそ本の世界へ」等を活用します。 イ. 児童・生徒が読書する時間の確保に努め、一冊を読み通す達成感を体験させるための読書イベント等を企画実施します。 ウ. 児童・生徒の興味関心や発達段階に応じて、自ら本を選び読書の幅を広げるための展示や掲示を工夫します。 エ. 自ら友達や同世代に向けて読書の楽しさを発信する活動を通じ、児童・生徒同士が交流できるよう取組みます。 オ. 委員会活動等の機会を通じ、校内において学校図書館が身近な学びの場であることが伝わる活動に取り組めます。	B: 現状維持	・「狛江本の森 学校図書館活用ノート」や「ようこそ本の世界へ」等を活用し、児童・生徒の読書活動に対する興味・関心を高めた。 ・「狛江本の森 学校図書館活用ノート(小学校)」や「こんな本どう2026(中学校)」をデジタル化し、Teams内で共有することで、児童・生徒が読書活動や調べ学習等で活用できるようにしている。 ・主体的・対話的な活動やビブリオバトル等を通して、児童・生徒の思考力、判断力、表現力等を育んでいる。 ・図書委員会等の活動の充実を図り、教職員や児童・生徒の「本の紹介カード」を掲示している。	現状維持	・児童・生徒が自ら読書活動に親しむことができるような読書イベントや掲示物の工夫等の更なる充実を図る。	小・中学校 指導室

		②資料を使った課題解決の支援	児童・生徒が楽しく読書するだけでなく、各教科・領域や総合的な学習の時間に活用できる学校図書館を目指すと共に、令和2年9月に児童・生徒へ1人1台配布されたタブレット端末を利用したデジタルコンテンツの利活用に努めます。	ア. 児童・生徒が課題を解決するための手助けとなるような資料を揃え、資料の使い方など、必要な指導や助言を行います。 イ. 学校の夏季休業期間中の宿題や自由研究を支援します。 ウ. 情報検索ツールの一つとして、オンライン百科事典を活用します。	A: 充実・進展した	・学校図書館の環境整備や掲示物等の充実、図書便りの発行等により読書活動の推進を図るとともに、校外学習や進路学習、総合発表会等の調べ学習において、学校司書と連携を図り、学校図書館の活用に努めている。 ・「狛江本の森 学校図書館活用ノート(小学校)」や「こんな本どう2026(中学校)」をデジタル化し、Teams内で共有することで、児童・生徒が読書活動や調べ学習等で活用できるようにしている。 ・施設訪問・職場体験などで資料の紹介助言を行った。 ・宿題や自由研究を支援するような講座を行った。 ・オンライン百科事典の導入はできなかった。	現状維持	・学校図書館を活用した探究的な学習の更なる充実を図る。	小・中学校 指導室 図書館
		③図書館見学・職場体験の受入れ	学年に応じた施設見学や図書館の仕事を体験することで、より一層本や図書館に親しみをもちことができるよう、内容の充実に努めるとともに積極的に受入れを行います。	ア. 小学生の校外学習の一環として、集団での施設案内や利用指導を行う機会をつくります。 イ. 中学生の職場体験を受入れ、図書館の仕事を体験する機会をつくります。 ウ. 夏季休業期間に小学生を募集し、「子ども図書館員」として図書館の仕事を体験する機会をつくります。 エ. 小・中学生からの取材依頼等を受入れ、図書館や本に親しみをもちことができる機会の充実に努めます。	B: 現状維持	・小学生の校外学習の利用指導の支援、中学生の職場体験の受入れを臨時窓口で縮小はしたが、できうる範囲で行った。 ・臨時窓口時には作業スペースの不足などの理由により図書館主催の「子ども図書館員」は実施出来なかった。 ・取材依頼等には出来る限り協力し、図書館への興味に寄与した。	拡充	・引き続き利用指導・仕事体験の機会を契機に図書館や資料の利用促進を図る。 ・「子ども図書館員」に限らず「図書館」や「図書」「情報」への関心が深まるような企画を行う。	図書館
		④児童館・児童センター・学童クラブにおける読書活動の推進	小・中学生が身近なところで本と親しむために、児童館・児童センター・学童クラブでの読書活動の充実を図ります。	ア. 児童館・児童センター・学童クラブでは、職員等による読み聞かせの時間を もつとともに、地域のおはなしグループによるおはなし会を企画します。 イ. 図書館の団体貸出を活用し、資料の充実を図ります。	B: 現状維持	各所に子どもが自由に読めるよう図書コーナーを設置・整理し、本に親しむ機会を提供した	現状維持	・利用者のニーズに合わせた図書の充実を引き続き図っていく	児童館・児童センター 学童クラブ
(2)小・中学生の読書活動推進のための諸条件の整備	①学校図書館の蔵書構成及び更新	児童・生徒が身近な場所で本と親しむとともに、各教科・領域や総合的な学習の時間に利用しやすい蔵書構成を目指した蔵書の充実と更新を図ります。	ア. 児童・生徒の読書への意欲をかきたてる資料を研究し、計画的に資料を整備します。 イ. 各教科や領域の学びを広げ深めるための資料の研究や収集に努めます。 ウ. 学級文庫用図書の充実に努めます。 エ. 不必要になった資料の定期的な払い出しや除籍を行い、蔵書の更新・補充に努めます。また、そのための除籍の基準を検討します。	B: 現状維持	・学校図書館の環境整備や掲示物等の充実、図書便りの発行等により読書活動の推進を図るとともに、校外学習や進路学習、総合発表会等の調べ学習において、学校司書と連携を図り、学校図書館の活用に努めている。 ・蔵書点検を各校が年1回計画的に行うとともに、アンケートによって児童・生徒が読みたい本を取り寄せるなど蔵書の更新・補充を進めている。	現状維持	・蔵書点検は、1月に狛江第三中学校、2月に狛江第二中学校、3月に狛江第三小学校で実施予定である。	小・中学校 指導室	
	②学校図書館システムの運用	学校図書館システムの運用により、貸出・返却・予約・統計・蔵書点検等の業務を円滑に行います。	ア. 学校司書や司書教諭が児童・生徒と接する時間を確保できるよう、円滑な業務遂行ができる環境を整備します。 イ. 学校司書や司書教諭への操作研修を実施し、円滑な学校図書館運営に努めます。 ウ. 学校図書館の運営に各種統計を参照するため、分類等の共通化を図ります。	B: 現状維持	・学校司書が児童・生徒と接する時間を確保できるように、Teamsの掲示板等を活用し、遠隔でも情報共有できるように工夫している。 ・蔵書点検を各校で年1回計画的に実施し、蔵書の更新・補充を進めている。	現状維持	・蔵書点検は、1月に狛江第三中学校、2月に狛江第二中学校、3月に狛江第三小学校で実施予定である。	小・中学校 指導室	
	③学校図書館設備の充実	学校図書館が、児童・生徒にとって安全で親しみやすく心の居場所であるとともに、学習や読書活動に役立つ環境整備を図ります。	ア. 児童・生徒の利用動線に配慮し、書架配置や必要に応じて案内表示を工夫します。 イ. 空間の確保、椅子・本棚等の不足や老朽化への対応に努めます。 ウ. 児童への読み聞かせスペース、生徒が集中して学習できる机の配置等の工夫に努めます。 エ. 児童・生徒が自ら蔵書を検索できる環境を整備します。 オ. 新しい生活様式に対応した利用ができるよう、環境の整備等に努めます。	B: 現状維持	・学校図書館の環境整備や掲示物等の充実、図書便りの発行等により読書活動の推進を図るとともに、校外学習や進路学習、総合発表会等の調べ学習において、学校司書と連携を図り、学校図書館の活用推進を行っている。	現状維持		小・中学校 指導室	
	④学校図書館連絡協議会の開催、研修の実施	学校図書館の運営には、利用指導計画を立案し実践する司書教諭と、それをサポートする学校司書の連絡調整が欠かせません。司書教諭の資質と能力の向上に取組み、専門的な知識・経験を深めるための実務研修を行います。また、校長は司書教諭や学校司書と協力し、学校図書館の業務が円滑に行われるよう努めます。	ア. 校内に学校図書館活用委員会を設置し、学校全体で学校図書館を活用します。 イ. 学校図書館の運営に必要な能力を司書教諭が身につけるための研修を実施します。 ウ. 小・中学校の司書教諭と学校司書が、連携を図るための合同連絡協議会を開催します。 エ. 学校図書館の校内運営及び学校間の連携のあり方について協議し、共有ガイドラインを作成します。	A: 充実・進展した	・学期に1回開催する学校図書館連絡協議会では、学校司書と教員の連携を図りながら、読書活動推進に向けた取組を行っている。また、適宜臨時会を開催し、読書週間の検討会や配布物の作成・共有等の取組を行っている。 ・学校図書館の運営に必要な能力を司書教諭等が身に付けるため、10月28日(火)に多摩市立中央図書館を視察し、館内の施設見学及び情報交換を行った。	現状維持	フィールドワークの実施場所の選定を指導室のみで行っていくのには、業務過多であり、今後図書館図書サービス係と連携していく必要がある。	小・中学校 指導室	
	⑤学校図書館と市立図書館の情報共有	小・中学生の読書活動の推進を図るため、学校図書館と市立図書館は情報を共有し、サービスの充実に取り組みます。また、学校図書館の運営が円滑に行われるよう、学校図書館と市立図書館の連絡体制を整備するとともに実務に必要な研修を実施します。	ア. 学校図書館連絡協議会へ図書館職員が参加し、情報共有を行います。 イ. 小・中学校の学校司書と図書館職員が、連携を図るための学校司書・図書館司書連絡会を開催します。 ウ. 図書館ホームページ上の掲示板を、各学校図書館及び図書館との情報共有に活用します。 エ. 業務を円滑に行うための、学校図書館実務マニュアルの作成を進めるとともに、必要に応じて見直します。 オ. 効率的に業務を行うために研鑽が図れるよう、実務研修を実施します。	B: 現状維持	・文字の読み書きに困難を抱える児童にデージー図書を提供している。特別支援学級設置校で実施している読書補助用具や館内掲示の工夫等について、特別支援学級がない学校でも特別な配慮を要する児童・生徒に向けた取組を行うことができるよう、学校図書館連絡協議会等で情報共有を図った。 ・要請により学校図書館連絡協議会への参加を行い児童サービスの内容を告知・PRを行った。 ・図書館掲示板の活用はできなかったが、メール等にて情報共有を行った。 ・学校図書館実務マニュアルにて、継続的・安定したサービスを行った。	現状維持	・学校図書館連絡協議会において、学校司書及び司書教諭が図書館職員と情報共有を行う等、連携を図る。	小・中学校 指導室 図書館	

		⑥市立図書館における小・中学生向け資料の充実	小・中学生が図書館で本と親しみ、本を通じて学ぶことができるよう、資料の充実を図ります。	ア. 小・中学生向けの資料について、新しく出版された本から適切な選書をするとともに、長く読み継がれている本を点検・必要に応じて買い替え補充し、利用に供します。 イ. 小・中学生のさまざまな興味に応えられるよう、各分野の資料を揃えます。 ウ. 郷土学習に関連する地域資料を積極的に収集します。 エ. 「こまえ電子図書館」で小・中学生向けの電子書籍の収集に努めます。	B: 現状維持	・選書・買い替えを積極的に行い、幅広い資料収集に努めた。 ・郷土資料の中で、児童にも理解しやすい必要な資料を揃えた。 ・電子書籍も紙の書籍では設置しにくい資料(傷みやすい・書き込み箇所が多いなど)の収集を行った。	現状維持	・継続的に適切な選書による資料収集と買い替えを行っていく。	図書館
		⑦市立図書館による学校図書館の支援	小・中学生が身近な学校図書館で本と親しみ、学習ができるよう、学校図書館の取組を支援します。	ア. 市立図書館から学校への配送便を定期的に運行し、学校図書館から要望のあった資料の貸出を行います。 イ. 学習テーマに応じた資料セットや郷土学習資料セットのほか、一斉指導や集団読書用に図鑑や絵本・読み物の複本を揃え、効果的な支援の実施に努めます。 ウ. 学級文庫用図書を準備し、必要に応じて配本します。	B: 現状維持	・配送便を定期的に運行し、幅広い資料の提供に協力した。 ・資料セット・学級文庫セットの貸出も調べ学習や読書啓発に貢献した。	現状維持	・定期的な配送便を維持し、資料提供に努める。	図書館
		⑧市立図書館ホームページ「こどもページ」の活用	市立図書館ホームページでは、子どもが自ら図書館の蔵書検索をできる仕組みを整備しましたが、引き続き子どもの読書活動推進のための情報発信に努めます。	ア. 子どもの読書活動に関する取組の情報を掲載し、情報発信に努めます。 イ. 学校図書館の支援に関する取組の情報を掲載し、情報発信に努めます。	B: 現状維持	・こどもページでは、子どもにもわかりやすく、使いやすい図書館ホームページ作りを継続した。 ・こどもページ内でも子ども向けのおはなし会やイベントのお知らせを掲載した。	拡充	・子どもにもわかりやすく使いやすい図書館ホームページ作りを継続する。 ・イベントのお知らせの掲載を継続する。 ・おすすめの児童書や館内展示を紹介し、読書活動の推進を図る。	図書館
		⑨児童館・児童センター・学童クラブにおける図書の充実	小・中学生が身近なところで本と親しむために、児童館・児童センター・学童クラブでの図書の充実を図ります。	ア. 児童館・児童センター・学童クラブでは、計画的に図書の充実を図ることに努めます。 イ. 図書館では、児童館・児童センター・学童クラブへ団体貸出を行います。	B: 現状維持	・各施設の要望に基づき予算の範囲内での図書の整備を行った。 ・児童館・児童センター・学童クラブへ団体貸出は希望が少なかった。 ・施設としてでなく、個人的な利用にて資料利用を行っていた。	現状維持	利用者のニーズに合わせた図書の充実を引き続き図っていく	児童館・児童センター 学童クラブ 図書館
		⑩全ての児童・生徒とその保護者のための読書相談及び資料の収集と提供	特別な配慮を必要とする児童・生徒とその保護者へ、それぞれのケースに応じた読書活動の支援を行います。	ア. 学校図書館では、読書補助用具を備え、読みへの抵抗を和らげる手立てを検討し、設備の充実を図ります。 イ. 学校図書館では、館内掲示を大きくし、手順をわかりやすく表示するためピクトグラムを添えるなど、文字だけに頼らない工夫をします。 ウ. 学校図書館では、特別支援学級(固定学級)の読書活動を支援する取組みに努めます。 エ. 市立図書館では、バリアフリー関連資料の収集と提供に努めます。 オ. 市立図書館では、利用支援サービスの案内・周知に努めます。 カ. 市立図書館では、特別支援学級に在籍する児童・生徒の施設案内のための来館に対応するとともに、特別な支援を必要とする生徒の職場体験を積極的に受入れます。 キ. 日本語を母語としない児童・生徒の読書活動の支援に努めます。	B: 現状維持	・文字の読み書きに困難を抱える児童にデージー図書を提供している。特別支援学級設置校で実施している読書補助用具や館内掲示の工夫等について、特別支援学級がない学校でも特別な配慮を要する児童・生徒に向けた取組を行うことができるよう、学校図書館連絡協議会等で情報共有を図った。 ・新しいこまえみライブラリーにて「りんごのたな」を開設した。 ・特別支援学級の来館対応を行った。 ・日本語を母語としない児童・生徒が利用出来る資料を設置した。	現状維持	デージー図書について、活用事例を共有するなど、更なる活用推進を図る。	小・中学校 指導室 図書館
3 高校生等の読書活動推進	(1) 図書館におけるYAサービスの充実		高校生等が図書館で本と親しみ、本を通じて学ぶことができるよう、図書館におけるYA資料の充実を図ります。	ア. YA世代のさまざまな興味に応えられるよう、各分野の資料を揃えます。また、対象者向けの新着図書などを特集コーナーで積極的に紹介します。	A: 充実・進展した	・こまえみライブラリーではフリースペースに隣接した棚をYAコーナーとして設置した。10代向けおすすめ本リストである「EnjoyReading」に掲載している本を紹介する展示コーナーを常設した。図書館に来た子どもだけではなく、公民館を利用しに来た子どもの目にも入るようになった。	拡充	・こまえみライブラリーが開館し、利用できるスペースが増えたので、臨時窓口で制限されていたYA世代向けの展示やイベントを充実させていきたい。	図書館
	(2) 「こまえ電子図書館」のYA向け電子書籍の充実		刊行頻度が高いライトノベルや記述式のページがある問題集など、紙の本では積極的に収集していない種類について電子書籍の収集・提供を検討します。また、世代特有の悩みなどセンシティブなテーマを扱った本は、電子図書館でも備えることで他人に知られることなく利用することができるなど、世代特有の環境に配慮した資料提供に努めます。	ア. 「こまえ電子図書館」では、YA世代に向けた電子書籍の収集と提供に努めます。	B: 現状維持	・流行りや需要の変化が大きく紙で購入するのが難しい本を電子書籍で収集した。 ・まんがで読む「日本の歴史」や「世界の歴史」を読み放題パックでシリーズで購入し、中高生の学びに役立つよう努めた。 ・旅行情報誌「るるぶ」の人気都市版を読み放題パックで購入し、修学旅行や校外学習の調べ学習に活用できるようにした。	拡充	・電子書籍をよりおおくのYA世代に利用してもらえるよう、周知を強化したい。	図書館
	(3) 都立狛江高等学校と市立図書館の連携		都立狛江高等学校では、市外から通う生徒が多いため、生徒が狛江市の図書館について知る機会をつくり、連携のあり方を検討します。	ア. 引き続き都立狛江高等学校へ、図書館の利用案内や推薦図書リストを配布します。 イ. 引き続きイベントのお知らせや「図書館だより」などを配布します。	C: 後退した	・臨時窓口の縮小運営に伴い、イベントの開催規模も縮小したため狛江高校との連携が少なかった。	現状維持	・新図書館のYAコーナーの告知や高校生も参加できるイベントについてチラシ・ポスターなどで告知を行う。	図書館

	(4)特別な配慮を必要とする青少年とその保護者への読書支援		特別な配慮を必要とする青少年とその保護者へ、それぞれのケースに応じた読書活動の支援を行います。	ア. バリアフリー関連資料の収集と提供に努めます。 イ. 外国語の絵本を収集します。 ウ. 「こま電子図書館」で読み上げ機能がある電子書籍の収集に努めます。 エ. 利用支援サービスにおいて、希望図書の音訳を行います。 オ. DAISY図書を活用した読書活動の支援を行います。 カ. 利用支援サービスの情報発信に努めます。 キ. 日本語を母語としない青少年の読書活動の支援に努めます。	A: 充実・進展した	・こまえみライブラリーに「りんごのたな」(バリアフリー図書関連資料書架)を開設した。 ・バリアフリー関連資料の収集等に努めた。 ・印刷物や図書館ホームページ等を活用して利用支援サービスについて広報周知を行った。	現状維持	・資料の増加を図る。 ・広報に努める。	図書館
4 地域における読書活動推進	(1)地域で活動するおはなしグループ、ボランティア団体との連携		地域で子どもへの読み聞かせやストーリーテリングなどの読書活動に取り組む団体との連携を図ります。	ア. 地域の団体の活動の把握に努め、近隣の子ども関連施設等に情報が届く仕組みを検討します。 イ. 地域の団体と情報交換を行い、連携のあり方を検討します。	B: 現状維持	・図書館事業に地域の団体に協力を依頼し、また地域活動団体に対して貸出等の支援を行っている	現状維持	・地域の団体活動の動向に着目し、必要な支援に努める。	図書館
	(2)子どもと本をつなぐ活動に携わる人の育成		子どもが身近で本と出会える機会をつくるため、地域において、子どもと本をつなぐ活動に携わる人を育成します。	ア. 子どもの読書に関心のある方を対象に「児童行事実技講座」を実施します。 イ. 「児童行事実技講座」受講者を対象に、地域で活躍していただける仕組みを検討します。	B: 現状維持	・児童行事実技講座を実施し、おはなし会の実施や絵本について講習を通し、おはなし会に携わる人材の養成に努めた。	現状維持	・地域連携の増加を図る。 ・広報に努める。	図書館
	(3)子どもの読書に関する講座等の実施		子どもの読書活動に関する市民の要望に応えた講座や講演会を実施します。	ア. 図書館では、子ども関連施設や公民館・地域センターと連携し、市民のニーズや今日的課題に応えた講座・講演会を実施します。	B: 現状維持	・こども一日図書室員を実施し、図書に触れたり図書室の仕事を体験することで図書・読書への活動推進を図った。 ・七夕会、クリスマス会を実施し、子どもの読書活動の入り口となること、図書室へ関心を深めることを図った。 ・近隣小学校のセンター見学の際、図書室も開放し、地域にも読書資源があることを紹介。 小学生を対象に「こども一日図書室員」という体験学習を毎年実施している。児童に、図書室の業務を実際に体験し、様々な本に触れ、本を身近に感じてもらう事により読書活動の推進を図った。 ・読み聞かせ等でボランティアで活動している市民に対し、講座・講演会を行った。	現状維持		地域センター 公民館 図書館
	(4)図書関連施設職員の情報共有			ア. 地域センターでは、図書館と連携して図書室を運営し、子どもの本を充実するとともに、地域での取組みについて情報を共有します。 イ. 西河原公民館では、図書館と連携して図書室を運営し、子どもの本の充実を図るとともに、定期的なおはなし会の開催を継続します。	B: 現状維持	・会議等に参加し、図書館との情報共有、連携を図る。 廃棄する絵本等を同居する学童に提供するなど読書のきっかけ作りに務めている。 ・西河原図書室の「おはなし会」では、3～7歳の子どもを対象にしていたが、0～3歳の子どもについても対象にした折り紙や季節の工作・数え歌などの多彩なプログラムを実施している。 ・公民館図書室・地域センター図書室の資料収集のアドバイスやおはなし会の実施のための提案を行った。	現状維持	・0～3歳の子どもを対象にしたプログラムを実施したが、参加者の増加には結びつかなかったため、令和8年度はいきいき子育てルームでおはなし会を実施し、乳幼児とその保護者に読書に親しむ環境の充実に努めている。 ・協力し、市全体としてブラッシュアップしていく	地域センター 公民館 図書館
5 普及・啓発	(1)子ども読書啓発事業の取組		平成15年度に開始したブックスタート事業に続き、子ども自身が読書の楽しさを知るきっかけをつくり自発的な読書活動につなげるための取組として、平成25年からセカンドブック事業、平成29年にはサードブック事業を開始しています。配布方法については、小・中学校と連携して行います。	ア. 引き続き乳児を対象に、絵本を贈呈するブックスタートに取り組めます。 イ. 引き続き市立小学校と協力するなど、新小学1年生を対象に、本を贈呈するセカンドブックに取り組めます。 ウ. 引き続き市立中学校と協力するなど、新中学1年生を対象に、本を贈呈するサードブックに取り組めます。	A: 充実・進展した	・ブックスタート、セカンドブック事業については引き続き取り組みを行った。 ・新中学1年生を対象としたサードブック事業については、新たな取り組みとして、より自由に本を選べるよう市内事業者と協力し「図書カードNEXT3,000円分」を贈呈した。	現状維持	・セカンドブック、サードブックを活用した、学校との連携と読書環境の更なる充実を図る。 ・アンケートを実施し、検証する。	図書館
	(2)「子ども読書の日」に合わせたイベントの開催		子どもの読書活動の大切さについて、広く市民の関心と理解を深めるため、国の定めた「子ども読書の日」の趣旨に沿ったイベントを開催します。	ア. 4月23日～5月12日の「こどもの読書週間」に合わせ、子どもの読書に関するイベントを開催します。	B: 現状維持	・イベントを実施し、図書館利用に貢献した。	現状維持	・普段あまり利用していない人にも、興味を持たれるようなイベント等で利用促進を図る。	図書館
	(3)家庭における読書活動の推奨		子どもの読書活動を習慣づけるためには、乳幼児期をはじめとして、最も身近な場所である家庭で本に親しむことが有効です。家庭における読書を推奨します。	ア. 乳幼児の保護者に向けて、図書館の利用案内を配布します。 イ. 読み聞かせに向く絵本のリストを作成し、配布します。	B: 現状維持	・ブックスタートやおはなし会等で配布・PRした	拡充	・普段あまり利用していない人にも、興味を持たれるようなイベント等で利用促進を図る。	図書館
	(4)新しい生活様式に対応した各種行事、講座等の実施		新型コロナウイルス感染症拡大防止対策等を念頭に置き、新しい生活様式に対応しつつ、より子どもたちの興味関心に寄り添った形での行事イベントや講座等の実施を工夫します。	ア. 「児童行事実技講座」等の講座・講演会を実施するに際しては、基本的な感染予防対策を徹底します。 イ. 子どもたちが密にならず、自分のタイミングで参加できるようなブックレビュー等の設置型のイベントや屋外でのおはなし会を企画します。 ウ. 先進的事例等の情報収集に努め、各施設の取組とも連携し、より子どもたちの読書意欲を喚起する取組を検討します。	A: 充実・進展した	・感染症対策に配慮しながら講座等を実施した。子ども読書の日に合わせてイベントでは、こまえみらいテラスのウッドデッキで屋外のおはなし会を行った。	現状維持	現状に即したイベントや講座を実施していく。	図書館
	(5)読書手帳の配布		子どもが読んだ本の情報を書き記すことで自身の読書傾向を把握し、さらなる読書意欲を喚起させる取組として、「読書手帳」を配布します。	ア. 中学生以下の子どもを対象に、貸出中の本の情報をシール印刷して貼付することができる「読書手帳」を配布します。	B: 現状維持	・セカンドブック・サードブックの贈呈の際に読書手帳を配布した。	拡充	・職場体験や施設見学・イベントの際の「読書手帳」の配布に加え、興味のある子どもにはカウンターでも声かけをしていく。	図書館